

石川県リハビリテーションセンターニュース

～平成29年度事業について～

目次

リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業	1
地域包括ケアに対応するリハビリテーションの構築	2
リハビリテーションセンター研修事業	3
難病相談・支援センター事業	4
高次脳機能障害相談・支援センター事業	5
高次脳機能障害相談・支援センター開設10周年を迎えて	6

リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業

[平成29年度]

前号でもお伝えしましたが、平成25～28年度の4年間で、障害のある方ができる限り住み慣れた地域で本人の身体特性を活かした自立的な日常生活・社会生活ができるよう、身近な地域で相談及びリハビリテーション技術支援（以下、リハ技術支援）を受けられる相談支援体制づくりを目的に「リハ技術支援ネットワーク構築事業」を実施してきました。この事業を通して、各市町の障害福祉担当者や相談支援専門員の方々に、当事者のニーズを的確に捉えての自立を視点においたサービス等利用計画が必要であること、それを実現する一つ的手段としてリハ技術支援が重要な役割をもつこと、医療と福祉の連携が極めて重要なことなどを理解していただく良い機会になりました。

今年度からは、本事業をさらに強化していくことを目的に、在宅生活者に対して各地域の実情に適した方法でリハ技術支援を提供していくために、医療機関をはじめ訪問リハビリテーションを行うリハビリテーション専門職（以下、リハ専門職）と、市町担当者、相談支援専門員、介護支援専門員の連携強化を図ることができるよう、リハ技術支援ネットワーク強化事業の実施を予定しています。併せて、リハ専門職や関係職種のリハビリテーションに関する知識や技術の向上を目的とした研修事業も進めてまいりますので、関係者の方々には、これまで以上のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

(1) 自立支援機器活用研修事業

身近な地域で福祉用具等を用いたリハ技術支援を受けられる相談支援体制を強化するためには、自立支援機器の普及がますます重要となり、今年度より下記の2つの事業を実施します。

① 自立支援機器情報交換連絡会

生活支援の専門職として常に福祉用具の最新情報を持つことは、障害のある方や高齢者の自立支援を行う上で最適な情報を発信できることにつながります。

今年度の新規事業として福祉用具メーカー各社にご協力をいただき、リハ専門職や福祉用具専門相談員、当事者の方々を対象に、福祉用具に関する情報交換の場を設けますので、多数のご参加をお待ちしています。

回	日時	内容	会場	対象者
1	7月21日(金) 16:00～18:00	自動車改造部品 ～補助具・リフト等～	ほっとあんしんの家	リハ専門職、福祉用具取扱業者、福祉用具専門相談員、当事者等
2	10月5日(木) 16:00～18:00	コミュニケーション機器 ～視線入力等の各種入力機器～		
3	12月7日(木) 16:00～18:00	車椅子付属部品 ～クッション・パッド、サポートベルト等～		

※必見です！

上記の定期開催以外にも、メーカーが来県して有用な福祉用具の情報提供がある場合には、施設もしくは個人宛にメールで臨時開催等のご案内をいたします。案内をご希望の方は、同封の「ちらし」をご覧ください。必須事項を記入して当センターのメールアドレスに送信ください。

② 自立支援機器・住環境適合研修（スペシャリスト育成研修）

リハ技術支援ネットワーク構築事業を実施した4年間で、車椅子、電動車椅子、座位保持装置、コミュニケーション機器等の補装具適合・製作の技術研修を開催しました。今年度からは、リハ専門職と福祉用具専門相談員の方の専門性を高める実践的な事例演習を中心にした研修をそれぞれ3回シリーズで開催します。

今年度は、「車椅子」をテーマに、リハ専門職と福祉用具専門相談員に求められる支援技術について学びます。

ア) リハビリテーション専門職研修

回	日時	内容および講師	会場	対象者
1	10月7日(土) 13:30~17:00	講義・事例演習：車椅子適合・採型の進め方と必要な知識について 講師：県リハセンター職員	県リハセンター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等
2	11月19日(日) 10:00~16:00	講義・事例演習：ニーズに応じた車椅子の適合技術① 講師：県リハセンター職員		
3	12月16日(土) 13:30~17:00	講義・事例演習：ニーズに応じた車椅子の適合技術② 講師：県リハセンター職員		

※受講者には、研修終了後に実践レポートの提出をもって修了証を交付し、当センターのホームページに掲載します。

イ) 福祉用具専門相談員研修

回	日時	内容および講師	会場	対象者
1	11月28日(火) 13:30~17:00	グループワーク：自走用車椅子の見立て方 ～特徴や適応を考える～ 講師：県リハセンター職員	県リハセンター	福祉用具取扱業者、福祉用具専門相談員等
2	12月12日(火) 13:30~17:00	グループワーク：自走用車椅子の障害像に合わせた調整演習 講師：車椅子メーカー、県リハセンター職員		
3	1月12日(金) 13:30~17:00	グループワーク：リクライニング・ティルト式車椅子の 特徴・適応・調整演習 講師：車椅子メーカー、県リハセンター職員		

※受講者には、研修終了後に実践レポートの提出をもって修了証を交付し、当センターのホームページに掲載します。

地域包括ケアに対応するリハビリテーションの構築

[平成29年度]

子どもから高齢者までが、住み慣れた地域で安心した生活を継続するための地域包括ケアが推進される中、その人らしい暮らしができるように支援するリハビリテーション活動が、地域でどのように役立つのかを幅広く考えていくことが重要となっています。

このため、平成25年度から取り組んできた各市町におけるリハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業と、平成27年度から実施しているリハビリテーション専門職活用支援事業の報告を行うとともに、関連職種の方々の情報共有とネットワークづくりの場を設け、高齢者や障害のある方の主体性を引き出す支援計画を立案する地域ケア個別会議におけるリハビリテーション専門職の役割を理解し、実践できるリハ専門職の育成を目的に研修会を開催します。

日時	内容および講師	会場	対象者
8月5日(土) 13:30~17:00 ~ 8月6日(日) 9:30~17:00	<p>I 特別講演 在宅生活のニーズをとらえた多職種連携支援の必要性 ～リハビリテーション専門職への期待～(仮) 講師：独立行政法人 国立病院機構医王病院 院長 駒井 清暢 氏</p> <p>II リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業報告会(障害分野) 平成28年度リハビリテーション技術支援ネットワーク構築事業報告 ・金沢市の取組み ・内灘町の取組み</p> <p>III リハビリテーション専門職活用支援事業(高齢分野) ①講演 地域ケア個別会議への関わり方 講師：池端病院 総務部長 紅野 勉 氏(作業療法士)、 兵庫県但馬県民局 但馬長寿の郷 地域ケア課 小森 昌彦 氏(理学療法士) ②演習 地域ケア個別会議の実践 PT・OT・STの専門性を活かすための地域ケア個別会議の演習 ファシリテーター：石川県PT・OT・ST連絡会</p>	県地場産業振興センター	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、市町職員等

1 リハビリテーション支援指導事業

リハビリテーション専門職やリハビリテーションに関わる職員の知識習得や技術向上を目指す研修会です。

(1) リハビリテーション医療専門職研修

日時	内容および講師	会場	対象者
7月1日(土) 14:00~17:00	講義：自動車運転支援におけるリハビリテーション専門職の役割 講師：千葉県立保健医療大学健康科学部 准教授 藤田 佳男氏(作業療法士) 講義：障害者と高齢者の運転に関する道路交通法と運転適性相談の状況 講師：石川県警察本部交通部運転免許課職員	県リハセンター	理学療法士、 作業療法士、 言語聴覚士 等
9月2日(土) 14:00~17:00	講義：地域包括ケア病棟におけるリハビリテーション専門職の役割とは 講師：八千代病院総合リハビリセンター 技師長 松山 太士氏(理学療法士)		
1月13日(土) 14:00~16:30	講義：栄養状態に応じたリハビリテーションの実践方法について(仮) 講師：田村外科病院リハビリテーション科 科長 高橋 浩平氏(理学療法士、NST専門療法士)		

(2) 教職員リハビリテーション研修

日時	内容および講師	会場	対象者
7月28日(金) 10:00~16:30	特別講演：子どもたちの学校生活と未来を支える協働 ～作業療法士の支援の実際～ 講師：名古屋大学大学院医学系研究科 教授 辛島千恵子氏(作業療法士) 福祉用具の展示	いしかわ特別支援学校	特別支援学校、特別支援学級、一般学級教職員 等

2 福祉用具研修・普及事業

福祉用具に関する知識習得や技術向上を目指す研修会です。

(1) 補装具制度活用研修

日時	内容および講師	会場	対象者
6月24日(土) 14:00~16:30	講義：補装具の支給制度を学ぼう！ 講師：有限会社 丸山義肢製作所 代表 丸山 照雄氏(義肢装具士) 金沢脳神経外科病院 リハビリテーション部長 土山 裕之氏(理学療法士) 県身体障害者更生相談所職員、県リハセンター職員	県リハセンター	医療・福祉関係者、 介護支援専門員、 相談支援専門員、 補装具製作・販売業者 等

(2) 職場環境改善研修

日時	内容および講師	会場	対象者
10月13日(金) 13:30~16:30	講義①：介護施設職員の腰痛予防対策の実際(仮) 講師：特別養護老人ホーム ささづ苑 施設長 岩井 広行氏 佐藤 佳子氏(作業療法士) 講義②：介護労働安定センターの紹介(仮) 講師：(公財)介護労働安定センター石川支部 支部長 津田 泰史氏	県リハセンター	高齢者・障害者関連施設の管理者等

(3) 福祉用具活用研修

日時	内容および講師	会場	対象者
12月2日(土) 10:00~16:00	講義・実技：腰痛予防のためのトランスファーテクニック ～福祉用具を活用して～(仮) 講師：森ノ宮医療大学保健医療学部 理学療法学科 教授 上田 喜敏氏(理学療法士)	県リハセンター	理学療法士、 作業療法士、 言語聴覚士 等
12月3日(日) 9:30~16:00			
3月2日(金) 13:30~17:00	講義・実技：利用者・介護者にやさしいベッド回りの介護(仮) 講師：金沢春日ケアセンター 山下ともみ氏(作業療法士) 県リハセンター職員	県リハセンター	高齢者・障害者関連施設職員 等

(4) バリアフリー啓発普及事業

日時	内容および講師	会場	対象者
9月24日(日) 10:00~16:00	障害者ふれあいフェスティバルへの参加 内容：福祉用具やユニバーサルデザイン用品の紹介および相談	県産業展示館	どなたでも
10月21日(土) 10:00~16:00	いしかわ介護フェスタへの参加 内容：福祉用具や介護ロボットの紹介およびミニセミナー		

3 リハビリテーション技術支援ネットワーク強化事業

[自立支援機器情報交換連絡会、自立支援機器・住環境適合研修(スペシャリスト育成研修)] ※本紙1~2ページ参照

難病相談・支援センターでは、難病患者とそのご家族が病気や日常生活上の不安を軽減し、安心して療養生活を過ごすことができるよう、各種相談・支援をはじめ、当事者との交流、研修会の開催、病気・就労に関する情報提供、福祉用具や住宅環境調整等による支援を行っています。

1 難病医療講演会・相談会

日時	内容および講師	会場	対象者
8月25日(金) 14:00~16:00	講義：皮膚・結合組織疾患（神経線維腫症、天疱瘡、表皮水疱症、膿疱性乾癬（汎発性）、スティーヴンス・ジョンソン症候群）について 講師：金沢大学附属病院 皮膚科 医師 松下 貴史 氏	県リハセンター	対象疾病の患者、家族
9月19日(火) 14:00~16:00	講義：呼吸器系疾患（特発性間質性肺炎、肺動脈性肺高血圧症、慢性血栓性肺高血圧症、肺胞低換気症候群、リンパ管筋腫症）について 講師：県立中央病院 呼吸器内科 診療部長 西 耕一 氏		
9月30日(土) 14:00~16:00	講義：パージャール病について 講師：金沢医科大学 循環器外科 教授 四方 裕夫 氏		

2 セルフマネジメント研修

日時	内容および講師	会場	対象者
11月9日(木) 11月21日(火) 13:30~15:30	難病患者と家族のためのヨガ体験 いつでも、どこでも、だれでも出来る簡単ヨガ 講師：ヨガサークルpancha 松山 幸治 氏	県リハセンター	難病患者、家族

3 難病交流会（疾患別・同病者交流会） 同病者同士が思いを語り、交流できる場を提供します。

日時	対象疾患名	会場	対象者
7月28日(金) 13:30~15:00	重症筋無力症	県リハセンター	対象疾病の患者、家族
8月24日(木) 13:30~15:00	原発性胆汁性胆管炎（原発性胆汁性肝硬変）		
10月5日(木) 13:30~15:00	再生不良性貧血		

4 就労相談会

日時	内容および講師	会場	対象者
10月3日(火)	ミニレクチャーと相談会 講義：難病のある方の就労について－使える制度を知ろう－ 講師：金沢公共職業安定所 難病患者就職サポーター	県リハセンター	難病患者、家族
10月24日(火) 11月16日(木) 12月7日(木) 13:30~15:30	個別就労相談 難病就職サポーターによる個別相談（予約制）		

5 小児慢性特定疾病等自立支援事業（専門医等相談会）

日時	内容および講師	会場	対象者
9月10日(日) 10:00~12:00	学習交流会 家族のメンタルヘルス 講師：医王ヶ丘病院 音楽心理療法士 朴 裕美 氏	小松市内	医療的ケア児の家族、支援者
10月4日(水) 13:30~15:30	講義と相談会 小児がんの長期フォローアップについて 講師：金沢医科大学 小児科 主任教授 犀川 太 氏	県リハセンター	対象疾病の家族、支援者
10月30日(月) 14:30~16:30	講義と相談会 1型糖尿病について 講師：金沢大学附属病院小児科 医師 岡島 道子 氏	県能登中部保健福祉センター	対象疾病の家族、支援者
11月7日(火) 13:30~15:30	講義と相談会 小児の慢性腎疾患について 講師：国立病院機構金沢医療センター 小児科部長 太田 和秀 氏	県リハセンター	対象疾病の家族、支援者
11月12日(日) 10:00~12:00	学習交流会 医療的ケア児の発達を促すポジショニング 講師：県リハセンター 理学療法士、作業療法士	小松市内	医療的ケア児の家族、支援者

高次脳機能障害相談・支援センターでは、当事者の日常生活や社会参加の円滑なサポートを目指して、当事者や家族、支援機関等への相談・支援をはじめ、各種の研修会や講演会、生活支援教室、就労者のつどい等を開催しています。

1 講座 [本人・家族のための知って得する高次脳機能障害講座]

※全ての回で講義終了後に座談会を行います。

回	日時	内容および講師	会場	対象者
1	7月25日(火) 13:30~15:30	講義：高次脳機能障害の理解と対応について 講師：県リハセンター 作業療法士	県リハセンター	高次脳機能障害者と家族
2	9月12日(火) 13:30~15:30	講義：就労について 講師：金沢障害者就業・生活支援センター 職員		
3	11月28日(火) 13:30~15:30	講義：利用できる社会資源について 講師：県リハセンター 保健師		
4	1月16日(火) 13:30~15:30	講義：家族会の活動について 講師：高次脳機能障害患者と家族の会 つばさ 会員		

2 研修会

日時	内容および講師	会場	対象者
8月31日(木) 13:30~16:00	講義：病気の理解、対応方法、社会資源について 講師：県リハセンター 医師、作業療法士、保健師	県リハセンター	支援者 等
10月14日(土) 14:00~16:00	講義：地域生活を支える高次脳機能障害へのアプローチ ～遂行機能障害を中心に～ 講師：帝京平成大学 健康メディカル学部 言語聴覚学科 教授 廣貴 真弓氏(言語聴覚士)		理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等

3 講演会

日時	内容および講師	会場	対象者
9月10日(日) 13:30~15:30	講演：日々コウジ中の夫とともに ～高次脳機能障害の夫を支える妻の体験記～ 講師：漫画家・イラストレーター 柴本 礼氏	県リハセンター	どなたでも

4 生活支援教室

高次脳機能障害のある方が、当事者同士の交流や活動を通じて障害の自己認識を高め、障害を補うための代替手段の獲得等により、日常生活の自立や地域生活への移行の一助とすることを目的としています。

教室は週に一度、ほっとあんしんの家でスピーチ、手工芸、グループワークなどの活動を通じ、当センターの個別支援メニューの一つとして実施していますので、まずはご相談ください。

5 就労者のつどい

日時	内容および講師	会場	対象者
7月29日(土) 13:30~16:00	自己紹介 レクリエーション(料理、軽スポーツなど) 話し合い(テーマ:「仕事について」など) オブザーバー:就労支援関係機関の職員	ほっとあんしんの家	一般就労している高次脳機能障害者 等
12月9日(土) *予定 13:30~16:00			

高次脳機能障害患者と家族が主宰する会「つばさ」からのお知らせ

毎月第3日曜日に「ほっとあんしんの家」にて定例会を開催し、同じ悩みを持つ当事者と家族が体験を語りながら交流を行い、料理教室やキャンプ等の楽しい行事も行っています。

この障害で悩んでいる方は、仲間も沢山いますので、ぜひ一度ご参加ください。お待ちしております！

※会場が変更となる場合もありますので、詳細については当センターまでお問い合わせください。

高次脳機能障害相談・支援センター開設10周年を迎えて

平成18年の障害者自立支援法の施行を受け、高次脳機能障害者の支援体制を強化するため、県内の支援拠点機関として平成19年4月に石川県リハビリテーションセンター内に、高次脳機能障害相談・支援センターを設置し、今年で開設10周年を迎えました。

当センターは、高次脳機能障害に関する専門的な相談支援や技術研修をはじめ、家族会との協働で障害の理解を促すための普及啓発事業等を実施し、当事者の方が地域で生き生きと暮らせる社会づくりに尽力してきました。

特に相談支援は、保健師や作業療法士、心理相談員が在宅や就労・就学現場を訪問し、個人に対する相談支援を行っており、その件数は図1、内容は図2に示すとおりです。

具体的には、記憶や手順に必要な動作手法や補完的代償手段獲得に関する助言を行い、継続的な支援が必要な場合には他機関とも連携して支援を実施しています。また、集団活動の効果を活かした生活支援教室も週1回、当センターで開催しています。

就労・就学支援では、職場や学校の環境調整や対応方法に関する助言、就職相談の場合には障害者職業センターや福祉就労を視野に入れた就労支援事業所との連携による支援を行っています。また、既に就労されている方の情報交換やリフレッシュの場として就労者のつどいも開催しています。

開設から10年経過した現在、市町の地域生活支援事業や訓練給付事業等が充実し、開設当初に比べて相談支援専門員をはじめ様々な支援者の方と連携した支援ができるようになりました。しかし、生活に対応したリハビリテーションが十分に受けられていない方や、退院後に時間が経過してから社会生活に支障をきたして当センターに相談される相談者も多くなっています。中には高次脳機能障害と診断されていない方もおられ、医療機関との連携が必要になる相談者もいます。

社会の高次脳機能障害に対する認識度が向上する一方、外見からは障害が分かりづらく、未だに誤解や偏見に悩んでいる相談者も多く見られます。このため、当センターでは関係機関との連携を大切にして高次脳機能障害の方の自立生活や社会参加への支援体制を強化していくとともに、この障害への理解促進を図ってまいりますので、今後とも皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

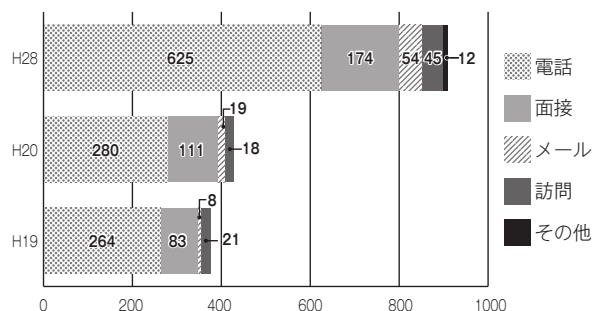


図1 相談件数の推移 (件)

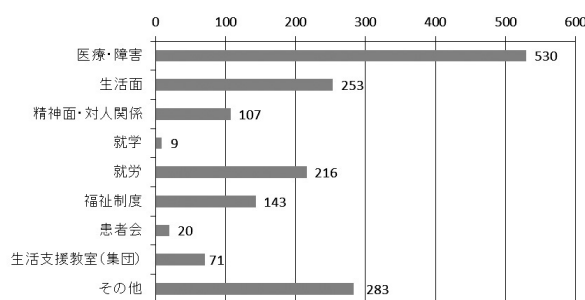


図2 平成28年度相談支援の内容 (件)

問い合わせ先

石川県リハビリテーションセンター

TEL (076) 266-2860 FAX (076) 266-2864
E-mail iprc@pref.ishikawa.lg.jp
URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kousei/rihabiri>

難病相談・支援センター

TEL (076) 266-2738 FAX (076) 266-2864
E-mail nanbyou@pref.ishikawa.lg.jp
URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/nanbyou/>

高次脳機能障害相談・支援センター

TEL (076) 266-2188 FAX (076) 266-2864
URL <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/koujinou/>

「相談は傾聴、親身、親切に」

リハビリテーションセンターでは、
県民ニーズに応えるため、
より質の高いサービスの提供を
目指しています。

編集・発行

石川県リハビリテーションセンター
〒920-0353 金沢市赤土町ニ13-1